水害地追放へ

その後の分流計画は……

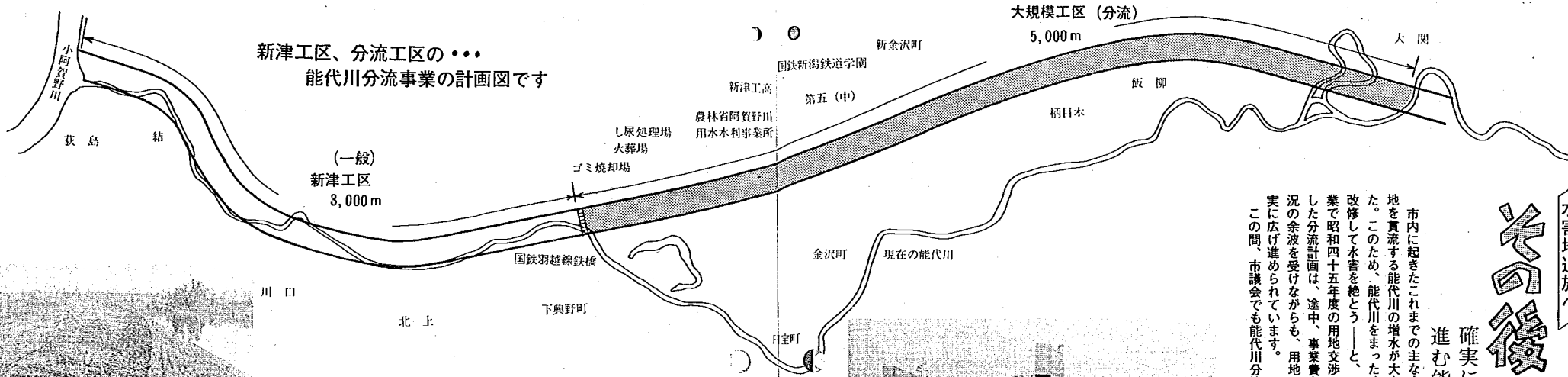
その一

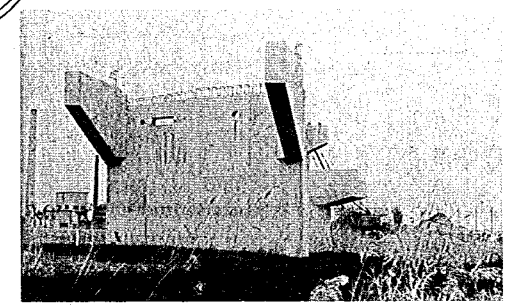
これまで五十三億円も投入

確実に改修 進む能代川

市内に起きたこれまでの主な水害は、市街地を貫流する能代川の増水が大きな原因でした。このため、能代川をまったく新しい形で改修して水害を絶とう——と、いわゆる県事業で昭和四十五年度の用地交渉からスタートした分流計画は、途中、事業費などの面で不況の余波を受けながらも、用地買収などを着実に広げ進められています。この間、市議会でも能代川分流特別委員会を組織するなど、分流事業の計画が早く進むよう、側面から積極的に協力体制をしいて活動をつづけています。

今号から二回にわたって、その後の分流計画は…事業の進みぐあいは…今後の見通しなどはどうなっているのか…などについて連載します。なお一回目の今号は、下興野羽越線鉄橋から一のせきまでのいわゆる分流計画（バイパス）区間をご紹介します。





分流事業で進められる新町大橋（仮称）の橋脚工事

□能代川は…県内でも指おりの危険河川

能代川は、村松町の白山を水源としています。大蔵地内の小阿賀野川にそそぐまでの総延長は、三万二千四百八十三メートル、信濃川水系に属する一級河川です。

全般的に蛇が通ったあとのようにくねくねと曲っているのが特徴で、昔から県下の中小河川の中でも増水度の大きい河川、危険度が高い川といわれてきました。このため県でも、戦後間もない昭和二十二年から改修計画をたてて工事を進めてきたものです。

ところが、昭和四十一年七月と、四十二年八月の二年連続、豪雨のために予想をはるかに上回る大増水となりました。このため県でも、改修目標を大幅に改め、新しく計画を立て直すことになりました。

しかし、抜本的改修をはかるといっても、なにしろ能代川は市街地の真中を貫流している関係で、川幅を広げたりするなどは容易なことではありません。そこで、羽越線鉄橋（下興野地内）から上流河川をそっくり新しい地区に移す大事業「分流計画」がたてられ、取り組まれています。

この事業には、四十一年度着工以来四十九年度までに、約四十四億二千万円にもおよぶ大変なお金が投入されました。また五十年度の事業費は補正予算による追加を含めて約九億三千万円で、あわせてこれまで五十三億五千万円がこの分流事業に使われます。（以上は工事費分を含んだ額）

用地交渉も着々と成果

暫定通水にむけて事業計画も軌道に

能代川分流事業は、大きくわけて、まったく新しい川をつくるいわゆる「分流工区」と、いまの能代川を改修する「一般工区」の二つの計画で進められています。今号は分流工区をご紹介します。

〔分流工区〕

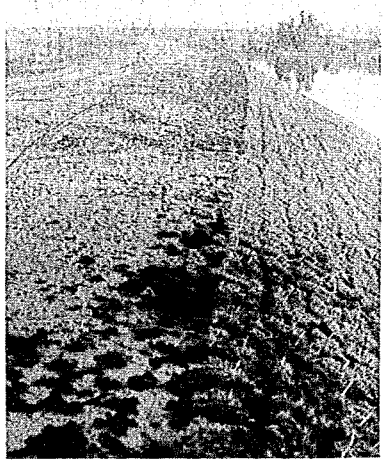
いわゆる大規模工区で、下興野地内の国鉄羽越線鉄橋（現在の能代川鉄橋）から草水地内の一のせきまでの完全バイパスとなる区間です。

ここは、まったく新しく川を開さくするものですから、どうしても用地の取得が第一です。それに新しく川をつくるには、県道、市道、農道をはじめ、用排水路などを分断しなければならないため、まずその施設の整備と新設が大変です。

用地の取得は、下興野地区から取りかかり、現在ではすでに飯柳地区の交渉に入っているなど、着々と成果をあげています。しかし、これら用地の買収にはほぼ大な費用がかかるため、一般公共事業費だけではなかなか思うように進みません。ですから県ではこれまで一般公共事業費と公社からの借入金の二本立てで事業を進めてきました。

施設の整備では、まず新町～七日町線の「新町大橋＝仮称」の橋脚が、今年度で完成します。このほかの側道や用排水路などは、四十九年度からようやく本格的に工事が始められ、現在、下興野と新町地内で引続き進められています。

なお、用地買収やこれら施設の整備・築堤工事などは、平均川幅を百三十五～百三十七メートルにするなど、全体計画どおり進められますが、五泉や村松での上流部改修がいまのところあまり進んでいないことや、一日も早い水害地解消をはかるため、当面は将来計画よりも川底を二メートル浅くして暫定通水する予定です。



川口地内に新設された新堤防

用地取得の状況（41年以降）

区分	年度別用地取得（新津工区のみ） 取得面積	金額
41年度	㎡ 4,400	千円 8,000
42 〃	65,500	64,000
43 〃	85,200	93,000
44 〃	68,300	136,000
45 〃	104,000	385,000
46 〃	145,100	872,000
47 〃	166,500	1,193,000
48 〃	119,400	946,000
49 〃	60,600	390,000
50 〃	89,000	602,000
計	908,000	4,689,000
51年度以降	290,000	3,363,000

注：昭和50年度は見込額。また金額は物件等補償費を含む

お買物、ご用命は市内で

ダイヤル2—9000をまわし
私達の話をきいてください—無料です
心をつなぐ 新津電報電話局

お買物、ご用命は市内で

看板■車輌文字専門
技術本位……
有限会社 二本看板店
新津市本町1 TEL (2)—1380

MEN'S LADY'S ダーバン
スーツ・コート セーターがある!!
レデース
いちだ ☎(4) 0648
MiMi ☎(4) 0658
新津市本町2